

経済倶楽部便り

◆東京◆ 2月の講演会では元日銀総裁の白川方明氏にご登壇頂きました。昨年、東洋経済新

報社から出版された『中央銀行』が1冊4500円にも関わらず、1万部を超えるベストセラーになっていいることもあり、ホールはほぼ満席。講演はバブル崩壊後の経済と中央銀行の金融政策の在り方について話されましたが、自ずと現状批判も伺える内容でした。また、長期に金融緩和が継続した背景を米国の経常収支黒字削減要求に対して日本が内需拡大で応えたことの問題点を指摘されましたが、ここでも経済の論理を政治が捻じ曲げる現実が読み取れました。詳

細は3月中旬刊行の4月号に掲載します。

4月の講師予定は下斗米伸夫・法政大学教授、田中秀征・福山大学客員教授、熊野英生・第一生命経済研究所首席エコノミスト、国際政治学者の三浦瑠麗氏です。

◆中部◆ 今、2027年のリニア開業に向けて名古屋駅周辺の再開発が盛んです。一方、事務所のある名古屋最大の繁華街、栄地区は再開発計画が進展せず老朽ビルが目立ちます。ところが、ここへきて国際的なホテルのリッツカールトンの進出が取り沙汰されています。これが起爆剤になって開発が進むのか注目されます。

4月の講師は元国連安保理・北朝鮮制裁委員会委員の古川勝久氏、東洋英和女学院大学客員教授の中岡望氏を予定しています。(日暮良一)